

# 福井県競技力向上基本計画

福井県教育委員会

平成23年9月

# 目 次

## は じ め に

I	計画の趣旨	・・・・・・・・・・・・・・・・	P	2
II	本県競技スポーツの現状	・・・・・・・・	P	4
III	競技力向上のための取組み	・・・・・・・・	P	15
IV	競技力向上対策の推進	・・・・・・・・	P	24

## はじめに

# 福井県の競技力向上に向けて

福井県では「福井県教育振興ビジョン」、「福井県スポーツ振興プラン」に基づき、豊かなスポーツライフの創造を目標に、生活の中にスポーツが位置付けられ、明るく元気で健康な生活を送ることができる「生涯スポーツ社会」の実現に取り組んできた。

また、トップレベルの競技者を育成することも、本県のスポーツ振興にとって極めて重要な施策であり、競技力の向上対策事業を実施してきた。

本県選手が、国民体育大会をはじめとする全国大会、国際大会で活躍し、輝かしい成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、郷土愛を育み、スポーツに対する関心や意欲を高め、スポーツの普及振興を促し、明るく豊かで活力に満ちた社会形成に寄与するものであるほか、福井県を全国へ広くアピールするものである。

平成30年には、福井県で2回目になる第73回国民体育大会の開催が予定されている。これまでも各競技団体と連携しながら、競技力の向上に向けて取り組んできたが、これを契機に、競技団体の自立を促し、競技団体が独自の強化策を推進していける組織づくりを支援し、アスリート強化のための環境整備や次世代選手の育成を中心とした、さらなる競技力の向上に向けた取組みを積極的に展開していくことが必要である。

このため、競技力の向上に向けた総合的な方策を協議・検討する、福井県選手強化対策委員会において、競技力向上のための課題や、その課題解決のための方向性等について議論を重ねてきた。

「福井県競技力向上基本計画」は、本県が目指す国体の基本的な姿を示した「福井国体ビジョン」をもとに、福井県選手強化対策委員会における競技力向上に向けた基本的な考え方や強化の方向性等の議論をとりまとめたものであり、今後とも、第73回国民体育大会での「開催県にふさわしい」成績の獲得と、国体後も継続する恒久的な競技力の向上を目指していく。

# I 計画の趣旨

# I 計画の趣旨

---

## 1 基本計画の位置付け

第73回国民体育大会における「開催県としてふさわしい成績」の獲得、また、大会終了後も恒久的な本県の競技スポーツの振興を目指し、選手や指導者の育成・環境整備等に関する基本的な考え方、方向性を示すものである。

## 2 計画の期間と目標

平成23年度から平成30年度までの8年間で、Ⅰ期(基盤整備期)、Ⅱ(飛躍期)、Ⅲ期(総合強化期)の期間に区分して段階的に競技力の向上を図ることとし、それぞれの期間において国体における獲得点、天皇杯順位の目標を掲げる。

〔第Ⅰ期〕(基盤整備期)の実施期間は、平成23年～平成24年

県競技力向上対策本部の設置をはじめ、各競技団体における強化基盤を整備し、未普及競技の育成・強化を図り、福井県全体のレベルアップを目指す。

目標競技獲得点を500点以上とし、天皇杯順位20位台とする。

〔第Ⅱ期〕(飛躍期)の実施期間は、平成25年～平成27年

県内高等学校に各競技別強化校を指定し、県内から発掘・育成されたジュニア選手の活躍による、インターハイ、国体少年種別強化を推進し、平成30年成年種別中心選手強化へつなげる。

目標競技獲得点を600点以上とし、天皇杯順位10位台の定着を目指す。

〔第Ⅲ期〕(総合強化期)の実施期間は、平成28年～平成30年

福井国体開催までの総合強化期とし、今まで実施してきた強化対策の完成を目指す。

大会前年までに目標競技獲得点を1,000点以上とし、早期に天皇杯10位前半を獲得。開催年の「開催県としてふさわしい成績」の獲得を目指す。

## 3 基本計画に基づく競技力向上対策事業の推進

この基本計画に基づく事業を推進していくため、対策本部の設置が必要であり、事業の進捗状況を評価し、必要に応じ基本計画を見直し、有効な競技力向上対策を実施する。

## 【30年福井国体に向けた競技力向上対策計画】

